産業につい 7

ご報告いたします。 月末の漁協の水揚げ状況を 漁業生

の

平成20 20 年 11 11 に寿都町 基幹

まず初め

行

政

報

告

増となっているところであ 第43%、5億2千9万円の を43%、5億2千9万円の 実績で達成 で達成 で達成

のコウナゴ漁は、 ります。 コウナゴ漁は、数量138ト主要魚種でありますが春

より前年対比、数量で27% いており、外来船の入港に

金額では22%増となっ

いており、

平 成 20 年 第 4 回定例会

件を審議し、 算認定7件、条例の一部改正2件、規約の一部改正 長の行政報告の後、発議1件、 平成20年第4回定例会は、12月24日招集され、 件、単行議案2件、平成2年度各会計補正予算5 一般質問を行い同日閉会しました。 平成19年度各会計決

ります。 年対比4%の増となってお 水準で維持された結果、 ンと前年並みで、 価格が高

前

後半に入ってから好漁が続イカ漁については、年の となっています。 と近年にない大幅な落込み 漁獲実績が前年比70%前後 ています。今年の秋さけ漁 少と大変深刻な状況となっ では6千55万円、 の減少は、全道的な傾向で の水準の傾向が続き、金額 業不振により昨年同様低位 秋さけ漁については、 4%の減 漁

平成21年2月 広報編 寿都町字渡島町140-1 (議会事務局) TEL 0136-62-2511 / FAX 0136-62-3431



12月23日「道の駅 みなとま~れ寿都」クリスマス ティータイムコンサー

ております。

となっております。 持された結果、3億3千700 単価は若干値を下げてはい 年に引き続き好漁であり、 万円の漁獲高で、10%の増 なっているナマコ漁は、 現在、主力魚種の一つと

れた平成18年度を大幅に上 となっており、豊漁といわ は6億2千130931 数量で9千31万円の漁獲高 金額では25%を超える水揚 回り、前年比は数量で84%・ は春、秋とも好漁で推移し げとなっています。 また、ホッケ漁について

の特徴としては、 今年の魚種別の水揚状 部の



となっております。 の増で、管内の漁業情勢と おり、数量では前年比73% 比較しても水揚高は高水準 の、総じて好調に推移して 魚種に減少が見られるも

月

待しているところでありま す12月の水揚げを更に期 円の増となっております。 況を申し上げましたが、残 以上、主な魚種別生産状 金額では5億2千31万

たします。 作柄状況についてご報告 次に今年の主要農作物の

まれ生育は順調でした。 た、しかしその後晴天に恵 に恵まれず、心配されまし 育に最も重要な6月の降雨 進みましたが、農作物の生 なく、春先の播種は順調に 本年も昨年同様積雪が少

作柄は平年並みでありまし りましたが、小豆・長芋の は馬鈴薯が若干小振りであ に引き続き豊作で、作物で は、作況指数が10で、昨年 水稲の作柄につきまして

生産者により多少のばらつ ております。 きがありますが、昨年同様、 -年並みの価格で取引され 販売価格でありますが

> 動しております。 経過し、現在まで順調に稼 た風太風力発電所も1年が いてでありますが、昨年10 から運転されておりまし り問題可決を図ることし、 による高速通信網整備によ 送路が確保できる無線方式 討してきた結果、 対策について種々調査を検 に合わせ広範囲に渡って伝

地域特件

対比数量で5千24トンのこれまでのところ、前年

り組んで参りたいと考えて 連携に関する協議を行い、 関係書類を提出したところ キロワットに応募すべく 申し込みの自治体枠、5千 募集している風力発電実施 おります。 事業採択に向け、 われる抽選までの間に高圧 であります。1月下旬に行 また本年、北海道電力が

ドバンドの基盤整備につい 速インターネット、ブロー て報告いたします。 次に寿都町内における高

は採算性の問題などからア すがその他の区域において ド環境が整備されておりま 電 ところNTTにより、固定 トについては現在までの 回線によるブロードバン 話62局の区域にADS

続きまして風力発電につ が続いておりました。その 間格差が解消されない状況

所の保守・管理に努めてま されますので、今後も発電 電量も増加するものと期待 ら風の強い時期であり、発 少しておりますが、これか 風が弱く、発電量も若干減 いります。 今年は夏から秋にかけて

全力で取 の準備を進めてまいりまし 把握した中事業化に向けて 会を行いながら利用意向を もらう公設民営方式が最善 者にサービス提供を担って 施設整備を行い、ノウハウ の方法と見定め、住民説明 や実績のある民間通信事業 事業実施手法としては町が

寿都町内のインターネッ

す。 ります。 してまいりたいと考えてお

も大きな支障が生じ、地域 線まであり、通信速度は遅 ナログ回線またISDN回 く、一般家庭はもとより学 発

審 議 た 案 件

議

部改正………原案可決 ◆寿都町議会会議規則の一

です。 ことができる。」との規定 会の運営に関し協議又は調 動としての 整を行うための場を設ける より、議案の審査または議 会議規則の定めるところに を会議規則に規定するもの が新たに設けられ、議会活 部改正により、 昨年6月の地方自治法の (賛成8 反対0) 「全員協議会 「議会は、

◆寿都町税条例の一部を改 条例の一部改正

国の交付金を財源とし、当 力の下、前倒しで事業推進 化できることなり、議会初 想定しておりましたが国の め町民皆様のご理解、ご協 第一次補正予算の中で財源 初平成21年度の施設整備を た。事業実施に当たっては の一部改正……原案可決 条例の改正であります。 からの特別徴収に係る町税 正…………原案可決 ◆寿都町国民健康保険条例 地方税法の一部改正に伴 通常の分娩で脳性麻痺と 個人住民税の公的年金 (賛成8 反対0) (賛成8 反対0)

月ころを目途としておりま の提供時期は平成21年8 速インターネットサービス なお、無線方式による高 的とした「産科医療補償制 伴う保険料3万円を出産育 娩分から創設され、これに 度」が21年1月以降の分 なった児や家族の救済を目

> きるよう改正するものの 児一時金に加算し、 支給で

規約の一部改正

するものです 規約の一部改正…原案可決 整理するため本規約を改 連合が創設され、公平委員 ◆後志支庁管内公平委員会 会に加入することや文言を 平成19年4月に後志広域 (賛成8 反対0)

単行議案

総合整備計画の変更……… ▼辺地に係る公共的施設

原案可決

線施設整備を行うためのも 係る情報通信環境の高速無 のです。 歌棄・磯谷辺地に (賛成8 反対0)

鏡システム購入契約……… ◆寿都町立寿都診療所内視

(賛成8 反対0)

テムを導入するものです。 寿都診療所に内視鏡シス

指名競争入札

契約の方法

契約金額 1千14万5千円

契約の相手方

株式会社常光室蘭営業所 室蘭市港北町1丁目12番2号 龍田

補正予算

一般会計補正予算

億6千18万円とするもので 千円を追加し、総額を32 予算総額に、3千88万1 (第4号)……原案可決 (賛成8 反対0)

○補正の主なもの

·農林水産業費 174863 | 174863 | 174863 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756 | 1756

会計補正予算(第2号) ▶国民健康保険事業特別

------原案可決 し、総額を4億5千73万2 予算総額に15万円を追加 (賛成8 反対0)

〇補正の主なもの 千円とするものです。

療養諸費 業務委託料9万2千円増 総務管理費

療養費・審査手数料等

出産育児諸費 出産育児一時金41万円増 40万7千円増

償還金及び還付加算金 調整交付金返還金 61万1千円増

> 正予算 ◆介護保険事業特別会計補 (賛成8 反対0)

○補正の主なもの 追加し、総額を3億9千889予算総額に3万6千円を 万8千円とするものです。

北海道自治体情報システ ム協議会負担金 9万5千円増

·認定調查業務委託料 ◆簡易水道事業特別会計補 23万1千円増

正予算 万6千円とするものです。 追加し、総額を1億5千24 予算総額に51万2千円を (第2号) 原案可決 (賛成8 反対0)

○補正の主なもの 一般管理費 給料・手当・共済費

補正予算(第2号)……… **>公共下水道事業特別会計** 51万2千円増

------原案可決

千円とするものです。 ○補正の主なもの し、総額を3億3千49万8 予算総額に70万円を追加 (賛成8 反対0)

総務管理費 修繕料・委託料・改修工事

(第2号) 原案可決

されました。 議において次のとおり認定 男委員長からなされ、本会 認定すべきものと決定しま 日、14日の2日間にわたり 認定については、11月13 び各特別会計歳入歳出決算 4回定例会で「各会計とも 審議を行い、12月24日の第 した」との報告が、中里徳 平成19年度の一般会計及

(反対討論1名 賛成討論1名 賛成7 反対1) 計歳入歳出決算……認定 ◆平成19年度寿都町国民健

事業はほぼ適正に執行され

会計については、前年度に

イ

国民健康保険事業特別

保健特別会計歳入歳出決質 (反対討論1名 賛成7 反対1)

……認定 (賛成8 反対0)

道事業特別会計歳入歳出決 ◆平成19年度寿都町簡易水

◆平成19年度寿都町簡易水

平成19年度 各会計決算認定

(決算特別委員会で審査)

◆平成19年度寿都町一般会

出決算……認定 康保険事業特別会計歳入歳 平成19年度寿都町老人

険事業特別会計歳入歳出決 ◆平成19年度寿都町介護保

算……認定

道事業特別会計歳入歳出決

算………………… (賛成8 反対0) ·認定

算……認定 電事業特別会計歳入歳出決 ◆平成19年度寿都町風力発

数及び予算執行は適切であ 別会計の歳入歳出決算の係 は97・9%で、計画された (1) 一般会計並びに各特 については、歳出の執行率 (2) 平成19年度一般会計

滑な運営が図られるよう強 く要望する。 (3) 次の事項については ている状況にある。 十分検討され、行財政の円

依然として多額の未済額と 万円増加の、2千90万円と 収納未済額は前年より51

61

また、税滞納者への短期

健全な事業運営を図られた

正かつ慎重な対応に努め、

ても、一般会計と同様、

さらに連携を蜜にし、財源 確保に努めてていただきた 定の成果をあげているが、 北海道との共同徴収も一

また、 税外の負担金、 使

ついては、

目的、

運用等を

全な事業運営に当たられた

(賛成8 反対0) なお一層図るなど、積極的 ことは認められるが、町民 納率の向上に努力している 担の公平化と自主財源確保 のため、歳入全体として収 への収納意識の啓発高揚を

■審査意見

に収入の確保に努力された

とも税法に基づき適正な事 だけの適宜の認定で整理さ 政執行に当たられたい。 務手続きにより、慎重な行 ては、単に徴収不能という不納欠損額30万円につい れることがないよう、今後

ア、一般会計の町税につい

の89・8%である。 ては、収納率で前年度同率

行に当たっては被保険者の 実施されているが、その執 上、適正に対処されたい。 被保険者証の交付は、10件 特別事情等を十分に勘案の 国民健康保険事業基金に

については、介護利用の啓 0

収入未済額は6千41万円でとなっているが、保険税の と共に、不納欠損額につい あり、滞納・未納額の解消 引き続き本年度も黒字決算 適 当たられたい。 適正かつ円滑な事業運営に 蒙活動を推進し、本会計 なお、介護保険料の収入 介護保険事業特別会計

未済額が18万円となってお

り、対象者に保険制度の趣 円滑な運営に努め、 されているが、今後は有収 計については、施設の管理 率の向上と施設の適正かつ 及び財政面では円滑に運営 才、簡易水道事業特別会 上を期されたい。 旨を理解させ、収納率の向 より健 議会だより

なっていることから、税負

未済額合計で84万円と

用料及び手数料、

財産収入

む中で、 る戸別訪問など各種の保健 高齢者の負担増が予想され いては、急速な高齢化が進 ウ 老人保健特別会計に 給付の軽減を図られたい。 者の健康管理の強化と医療 連携を図り、保健師等によ ることから、福祉施設との 事業の実施を通じて、高齢 医療諸費が上昇し



り減少しているものの企業 未済額が27万円で、前年よなお、水道使用料の収入 努力されたい。 会計の見地からその解消に

率76・49%と増加になって 営に当たられたい。 な運営に努め健全な財政運 上と、施設の適正かつ円滑 いるが、今後も加入率の向 計については、年度末加入 公共下水道事業特別会

して、事業の推進を図られ 十分得られるよう万全を期 の徴収には、住民の理解を なお、分担金及び使用料

の体制で臨んでいただきた 滑な運営管理に努め、万全 役割を果たすことになるこ 発電所の完成により、収益 は今後の地域振興に重要な 計については、 風力発電事業特別会 施設の維持及び円 新たな風力

■行政に対する総括意見

も苦しい財政運営が続くも なっていることから、今後 中で、経常的経費の公債費・ 負担金の見直しを図り、 のと考え、、各種補助金 出金が、その大きな要因と 補助費等の負担と他会計繰 年々町財政が硬直化する

> の 分精査検討の上、 徹底を期されたい 歳出抑 制

効率的な運用になお一層 さらに歳入の確保を図り、 善の努力をされているが、 努力をされたい。 する際には起債及び補助金 はもとより、各事業を実施 歳出面では経常経費の節減 との共同徴収等により、 済の景気低迷の中、北海道 り、一般財源の軽減を図り、 入未済額の解消には地域経 また、町税をはじめ、 有利な財源の確保によ 最 瓜 0

ゆ等各公共施設の有効活用 鋭意努力をされたい 検討し、最小限の経費で最 運営方法と方向性等を十分 を図るため、 大限の効果が得られるよう さらに道の駅、ゆべつの 施設の管理・



ゆさ こい秋祭り

行政

の見解を伺う

麻生首相の打ち出した「定額給付金」と

「3年後に消費税の引き上げ」につい

岡

部

武

議員

のです。その上、麻生首相 限りで国の責任を地方自治 模の「定額給付金」は1回 国民向けとされる2兆円規 企業向けの対策が中心で、 税金投入など大資産家や大 制の3年延長や大銀行への 加経済対策」は証券優遇税 す。ところが麻生内閣の「追 りに加えて、世界的な金融 原油・穀物の異常な値上が 構造改革以来の非正規雇用 ■ 質 返し表明しています。 的に10%にしたい」と繰り は「3年後に消費税を段階 体に押し付ける無責任なも 危機の下で悪化する一方で の拡大、福祉医療の切捨て、 今、 国民の暮らしは小泉 問

そこでまず「定額給付金」

が聞きたい



第4回定例会での一般

質問では2名の方から8

うに考えるか伺います。 ではないかと思うがどのよ とでき、経済効果があるの 地域に見合った事業がもつ 見合う地方交付税があれば えるのか、むしろ給付金に や経費の増加をどのように る自治体として、事務作業 本当に経済効果があると考 について伺います。 第2に給付金の窓口にな

地域経済がさらに悪化

るか伺います。 りないものです。このやり 任せる」という無責任極ま するかの判断は各自治体に 方についてどのように考え けを示し、所得制限をどう 1千8百万円という目安だ 第3に給付金を「年間

引き上げ」について伺いま 次に「3年後の消費税の

1999年に実施され 現金給付のことから、前回

た地

しております定額給付金は

項目について質問があり 第1に ました。 は事実上、大企業の減税の収は15兆円に上り、消費税 税金です。これが更に増税 そもそも消費税は大企業 円、一方、法人資産税の減の間の消費税の合計は88兆 として、消費税が導入され ついてどのように考えてい ます。消費税の引き上げに することは目に見えており は負担が軽く、所得が低い 1円も負担せず、 は価格に転嫁して実際には 保障は改悪の連続です。 療・年金・福祉などの社会 て19年経ちましたが、 になれば「貧困と格差」を 人ほど重い逆進的な最悪の 一層拡大し、消費が落ち込 「穴埋め」にされてきました。 これまで社会保障のため

大資産家

町

るか伺いたいと思います。

予想しているか伺います。 策として実施方針を打ち出 ですが、政府が追加経済対 点目の経済効果について えします。 ての見解でありますが、 :費税の引き上げについ 岡部議員のご質問にお答 定額給付金と3年後

1

医 おります される部分があると感じて とっての経済効果は疑問視 考えられ、 部での消費にまわることも 背景となり、貯蓄又は都市 雇用不安など様々な要因 域振興券と方式を比べた場 景気の悪さ、物価高 とりわけ地方に

期的にも不在となる世帯も するものと判断しており ど人件費を含め費用は増嵩 導入の必要性が出てくるな 理するために電算システム はありながら、 多く、事務量は非常に膨大 らしの高齢者を中心に、時 事前把握、申請のとりまと についてですが、対象者の における事務作業等の増 なものとなり、 め、支給決定から支出作業、 また、2点目の自治 本町においては一人暮 短期間で処 1回きりで 加

と存じます。 念頭に置く必要があるも 可能性なども、事務作業上、 を見た場合、 入出の時期と重なってくる さらに、 国会運営の動 実施時期が転

0

あり、 ある国が基本方針として考 間に格差が生じる可能性 ですが、その判断を各自治 体に任すとなると、 3点目の所得制限の関 対策の実施責任者で 自治体 が

乱を助長することにつなが えを示さなければ、 るものと考えます。 に不公平が生ずるなど、混 国民間

げは、不況の中、 4点目の消費税の引き上 消費に与

う次第でございます。 慎重に判断されることを願 状況もあり、景気の動向を はマイナスの要因が伺える える影響など、地域経済に はじめ、総合的な見地から

岡部 武 議員

行政 まちづくりをどのように目指すか 人ひとりが輝く暮らしができる

質

問

報告は、報告書をご覧いた 視察いたしました。全体の 海産物の出荷先である東京 視体制とエコ事業の取り組 支援策と高齢者の活動につ と馬籠宿、子供と高齢者の 歴史的建造物の保存・活用 は長野県栄村の研修視察で だきたいと思いますが、私 都中央卸売市場などを研修 みについて、茨城県日立市、 の風力発電施設の保守・監 いて、長野県の栄村、 査を実施しました。場所は 同で12月1日から5日まで 員会・産業常任委員会が合 4泊5日で道外所管事務調 私たち議員は総務常任委 長野県の妻籠宿 本町

していくためには何よりも 第1に地域づくりを展開 ら以下の点について伺いた 特に感じた点を踏まえなが

> を深く知るためにどのよう 歴史、さらには最近の風力 な施策を考えていくか伺い について、 発電施設、 となります。本町の自然や その地域を知ることが前提 町立診療所など 町民自身が地域

そのためにも町の自治の担 と暮らし、その能力を発揮 民が一人ひとり、いきいき ていくのか、 民」の発展をどのようにし い手である「個としての住 標ではないかと思います。 できるようにすることが目 よく使われます。それは住 か地域活性化という言葉が の目標として、 第2に通常、 その考えを伺 地域振興と 地域づくり

な け町の中で回していくよう が大変厳しくなっている中 で町が出すお金をできるだ 第3に地方自治体の財源 「地域循環型の経済シス

> テム」は重要であると思い ます。どのような施策を考 なっておりますが、この点 を考える上で重要な課題と かも地域経済の持続的発展 かに町内で循環させていく 当大きいのでこの年金をい 町内経済に占める割合は相 えていくのか伺います。 また、高齢者の年金が

るか伺います。 ついてどのように考えてい ものです。この「協働」に 性と実践が求められている う」という受身の姿勢では 動を支援する役割に徹する な ります。地域住民主権、 づくりは町と町民が「協働」 なく、主権者としての自立 の方は「行政にやってもら べきかもしれません。町民 行政がこのような町民の活 実践していく」活動です。 の住民自身が決定し、自ら して初めてできるものであ についても伺います。 て暮らすことができるまち わち「地域のことは地域 第4に一人ひとりが輝い す

町 長

じます。4点に分けてのご 質問でありますが、 向性を伺っているものと存 と実現のための手法及び方 くりの原点にかかわる部分 ご質問の主旨は、まちづ 一括し

どの支援を検討してまいり 切なものが浮かんでくるも ころ、悪いとことろを自分 りの原点であると考えてお を再発見する自主的活動な すので、生涯学習の場や町 のであり、町民自身も積極 で話し合うことにより、大 の目線だけでなく、みんな を見たり聴いたり、良いと ります。町の色々なところ えることであり、 域を深く知る」ということ たいと考えております。 もらうことが必要でありま 的に足を運び地域を学んで は、地域の個性を正確に捉 はじめに、 町 民が

識しております。 とであり、そのことが きいきと暮らしていけるこ 展は、住民一人ひとりがい ながってってくるものと認 としての町」の発展にもつ る「個としての住民」の発 . 個

で循環していくシステムづ テムと高齢者の年金が町内 が必要であると存じます。 くりを共通理解の上、とも 地域の特性に合ったまちづ 域の自然、歴史や文化など に力を発揮し推進すること 地域を見つめなおし、 地域循環型経済シス 地

てお答えさせていただきま くりに関連して述べさせて いただきますが、

また、自治の担い手であ まちづく けております。 地域資源の「風」を位置付 と考えており、その中核に りに最も適した方策である しましても本町のまちづく す「地域循環型経済システ ム」の考え方は、私といた

に循環させるものでありま す。このことは、 産業の振興や雇用の創出に る施肥事業や植樹活動によ 地域で発生した恩恵を地域 イクルが確立してまいりま つなげ、地域内での経済サ の海からの恩恵により関連 することが重要であり、そ 活用し、海に栄養分を与え 力発電事業による収益を 都町は成り立ちません。風 漁業振興なくして今後の寿 る森林育成から海を豊かに 国土保全にもつながり、 本町の重要な産業である 環境保全

業である漁業の振興と地域 保していくかを最重要課題 ました。ご質問にございま 心に施策を展開してまいり として、風力発電事業を中 資源を活用した最大の方策 いりました。また、基幹産 要性を認識し取り組んでま まちづくりは、町民の安心 としてこれまで行ってきた に据え、一つには医療の重 安全な生活をどのように確 私が行政

森林育成を目指した植樹活動

収益が還流する仕組みで事 けつつ、また、将来のまち 様々な分野でその恩恵を受 学金制度をはじめ、町民が 療スタッフ育成のための奨す。また、子育て支援や医 じます。 づくりの担い手となるよう 業を推進して参りたいと存

すし、高齢者を中心に買 とする場合は別といたしま ますが、 康と安全を確保する医療対さらに、地域住民の健 物や各種サービスの提供方 用促進により、 しても、地元医療機関の利 の体制充実に努めており 医療が受けられるよう、そ 策として、安心して気軽 法を工夫することにより ての支出が地元に留まりま 高度医療を必 医療費とし 町 要

外に流出する消費を軌道

地元が潤うことへ転

立ち、実践的取り組みの中 ちより相互補完の考え方に それぞれの経験や知識をも 動を要する場合もあろうか みは、行政の力だけで成し と存じます。 の関係を築いてまいりたい で課題の解決に向け「協働」 面においては、町民と行政 と存じます。そのような局 域での自己決定や自らの活 を見つめ、必要に応じ、 遂げることは難しい面があ と考えます。こうした取組 換を図ることが重要である 町民と行政が同じ方向

っくりアンケートにおいて 本年10月に実施したまち

> 地の良さ」を求める声が多 町であってほしいかの問い ございました。 康」と「産業」と「住み心 に対し、町民の思いは、「健 将来の寿都町がどんな 揚で推移しており、 ては、ここ数年は好調な水

存じますので、 流人口の増加に努め、町政 柱に据え、雇用の拡大や交 ある水産業の振興を政策の くりを推進し、基幹産業で めに環境にやさしいまちづ 然、特に海を守り育てるた た本町の地域資源である自 福祉の充実、また、恵まれ を執り進めてまいりたいと 私は、今後も、医療・保健・ 申し上げます。 宜しくお願

あります。 転換が図られている状況に なっており、黒字基調への 期利益を計上する見込みと れまでの経営不振から一転 れているところであり、こ めに、各種の改善策が行わ るぎない経営基盤を築くた ります。漁協としても、 幅に上回る結果となってお 初 取扱高が19億円を超え、当 年は事業の根幹をなす販売 して今年度においても、当 の事業計画に対して大 Ф

が、20海里規制以降、生産規模が拡大していきました 業へと移行する中で、漁業 が行われ、沿岸から沖合漁 度成長期に漁業も設備投資 和30年代からの経済の高 長い歴史がございます。昭 る再建計画に至る背景には 況と今後の見通しについて でありますが、漁協におけ 次に、再建計画の進捗状

岡部 武

進捗状況をどのように把握しているか 寿都漁協の生産高と信用事業再建計

画 ഗ

漁業

ます。 のようになっているか何い 協生産高と経営の推移がど そこで伺います。寿都漁

る

のようなっているか伺いま 捗状況と今後の見通しがど ますが、この再建計画の進 から10年計画で実施してい 用事業の再建を平成18年度 万程の負債整理のために信 次に寿都漁協は3億8千

> 合理化が遅れ多額の不良債 額が大きく落ち込み経営の

権が発生し、

組合経営も急

など多面的な役割を持って 国土の保全・生態系の維持

業は食料の供給と共に 本町の基幹産業であ

町町 長 も目標以上になっていると

いております。

で、ここ数年の漁業生産高 この基幹産業の漁業が好調 ます。ところが寿都町では など大変厳しい環境にあり 料価格の急騰や魚価の低迷 います。しかし、近年は燃



の建て直しを進めてきまし きな痛みを伴いながら経営 地道な自助努力を行い、大 減など、再建整備に向けた ため支所の廃止や職員の削

度までの10ヵ年の財務改善 平成18年度から平成27年 実態から、 件を満たすことができない 伺っております。 度JFマリンバンク制限指 営改善を進めた結果、今年 事業の制約を解消すべく経 ます。こうした中で、信用 計画を樹立したものであり 落ち込み、 たっては、 定先から既に解除されたと した結果、 財務収支改善計画

の累積欠損金や固定化債権 の見通しについては、多額 今後の財務収支改善計

組織の合理化・効率化など

財務改善を図る

漁協財務の整備・漁業振興

となりました。このため れず累積欠損を重ねること 激な水揚の減少に対応しき

> 履行に向けて取組まれてお りますが、現在のところ順 る中にありながら、 の存在が組合経営を圧迫す 越損失を解消できる見込み のところ計画期間内には繰 大きく悪化しない限り、 調に推移し、 単年度収支が 今

たが、組織の結集の中で身 評価に値するところである を削り、着実にその成果を 痛みが伴うこととなりまし 上げてきたことは、 であると伺っております。 組合員にとっても大きな

行政

■ 質

自力再建に向け 信用事業実施要 不良債権を処理 自己資本比率が

> 今、自力再建は困難という と感じております。 が厳しいといわれている昨 また、

総じて漁業経

営

大きな ものであります。 としての役割を果たして 苦い経験を糧とし、 と推察しております。 漁協も多数ある中にあって ただくと同時に、足腰の強 先導する責任ある経済団体 に協同組合精神によるも の経営の建て直しは、 い組合経営を期待している 今後においても、 地域 過去の

É

越前谷由樹

まちづくり懇談会について

行われました が7名の参 岩崎)の5地区をまとめて 島・六開岩(六条・開進・ では矢追・大磯・新栄・渡 でしたが、特に本町市街地 ケ所で私も含め10人の参加 変驚いた次第です。町内10 けて町内各地域で開催され が、参加者の少ない事に大 たまちづくり懇談会です 今月8日から12日にか

加となりました。 未だかって、こんな参加

除きますとたった4名の参

加であり町議会議員3名を

も意見がないのでしょう 験したことがありません。 者の少ないまちづくり懇談 か。或いは町民の町政に対 (行政) に満足していて何 町民の皆様が今の町政 (町政懇談会) は私は経

機だと思います。 担う役場としては大変な危 を持たなくなったら町政を 町民が町政に興味や関

るのでしょうか。

する関心や意識が薄れてい

談会について町長ほか理 の様な参加者の少ない懇 が言っておりましたが「こ 懇談会に参加された町 民

まさ

効果を生み出す事ができる 率的運営ではなく、どうし 段に町民のなまの声を聞く 者側は深く考えるべきでな とおりだと思います。 もらいたい」と。私はその か。この事を大切に考えて たら町民にとってより良い 必要がある。また、 いか。もっともっと町は普 町は効

懇談会の参加者の少ない状 聞きします 況について町長の見解をお 2点目、不況の時代に 1点目、このまちづくり 町政に関心を持たせる

明るくする話題や施策の提 様な事柄をテーマにするな あって町民の心を少しでも



まちづくり懇談会 (横澗会館)

そこで町長に伺います。

率先してやっていくべきで 知れませんが、アイデアを 集めには特効薬は無いかも 況を言っておりましたが人 はないかと思います。 合える雰囲気づくりを町が 募って町民が集まって話し

お答えします。

状況を町民へ説明する機会 ちんと「今年は開発局へこ 明されておりましたが、 歩道の設置などが町より説 ŋ を持つべきではないかと思 だけなかった」など、交渉 がうまくいかず、了承いた うした要望をしたがこの点 言った状況から、町民へき 後道開発局が廃止されると | 懇談会では国道の整備や 4点目、 今回のまちづく 今

残念ながら参加者が増える にご案内しておりますが、 を検討した中で町民の皆様

いる優秀な職員はいっぱい うしたアイデアを持って

ど又、各町内会と相談しな かがですか。 考えるべきと思いますがい 地は各地域毎に行うなど) がら開催時期や場所(市街

います。

懇談会への参加が少ない状 は他の町村も同じく、町政 いでしょうか。また、町長 ろいろな意見や要望等を聞 が直接町民の元へ行き、いサービスのように役場職員 持ちを掴むには役場が一番 必要としているか。又、 き取る事も必要なのではな はと思います。出前の行政 情報をキャッチし易いので を求めているか。町民の気 今、町民は何を 何

から3点目までをまとめて 況の明確化が必要と思いま 要ではないかと思います。 の様に交渉を進めていきた 「こうだったので、今後こ なく、調査し交渉した結果、 い」と言った様な説明が必 ただ漠然とした説明では その際、工事等内容状 にお

すので、はじめに、1点目 について、関連がございま 答えいたします。 まちづくり懇談会の開催 越前谷議員のご質問

えており、毎年、話題など 非常に重要な機会として捉 生の声を聴くことができる 般にわたり町民の皆様から する要望からまちづくり全 づくり懇談会は、町政に対 況となっております。まち 都地区の参加者が少ない状 が、矢追から六条までの寿 大きな変化は見られません 年度も総体の人数としては 加で推移しております。本 まで3ヵ年の開催状況とし ては、概ね10人前後の参 まちづくり懇談会の昨年

> 内会連合会とも協議・工夫 ていく方法なども含め、町 な集まりの場などに出かけ 固執しないで、サークル的 増やすことにつながるもの 性を感じております。合わ 実施内容を再検討する必要 くりの基本方向の合意形成 懇談会は、町民と行政の双 いと存じます。 と考えます。従来の形式に 題、日程及び場所など幅広 せて、町民の側から望む話 に重要なものであることか 方向の意向把握や、まちづ 状であります。まちづくり く対応することが参加者を 状況に至っていないのが現 した中で対応してまいりた 時間帯や対象区域など

会及び町内会総会又は役員 するまで年数がかかるケー たいろいろな要望事項につ 今まで各町内会から出され とのご意見でありますが、 会を持つべきではないか、 渉状況を町民へ説明する機 望している事項に関し、交 会等で経緯を説明してきて ては、関係機関との協議に スが多いことから、町とし な地域の要望事項は、実現 をしております。このよう 査のうえ各行政機関に要請 きましては、町で実情を精 ついて毎年まちづくり懇談 4点目の各行政機関に要

おります。 す。今後も、要望事項の早 施しているところでありま 施機関との連携のもとに実 文書による周知等を事業実 事に着手する場合において たいと考えております。 係機関と十分協議して参り 説明会の開催や工事着手の 実現に向け、引き続き関 また、事業採択を受け 地域住民に対する現地

■再質問

もっと町民が町政に関心を でございますから、 けて行政を掌っているわけ 私は役場は町民の負託を受 り懇談会でございますが 質問させていただきます。 ますが、町長の言っている 答弁をされたのかなと思い まちづくり懇談会の答弁と であると思います。もっと 員を問わず、エキスパート は正職員・準職員・臨時職 ことは分かりましたので再 ゴミ袋の無料化と混ざった まず第1点目のまちづく 先程の町長の答弁の中で 町職員

> すべきではないかと思いま 職員の能力・馬力を引き出 と思いますので、そうした 伺います。 す。再度、 いらっしゃるのではない 町長のお考えを

町

どもすべてお答えしたと思 ついては前後しましたけ ありませんでした。 序が違いまして大変申し訳先程の答弁、ちょっと順 います。 内容に

懇談会を含め、行動を起こ 切なことですし、またこの 常にまちづくりにとって大 自ら行動しようという動 とですけれど各地域で地 ということで今、懇談会と いと考えております。 に町の方も工夫して参りた がこれから育っていくよう せるようなそういう懇談会 も出てきたということは非 いうことが大切だというこ 先程もご説明したとお いろんな工夫が必要だ

●再々質問

があると思いますが、この というわが町の現状と交通 ように役場が町が町民の元 負担を解消しようとした面 の不便から少しでも住民の 口の約3%が高齢者である 出前の行政サービスは人

みや雰囲気づくり、またア 軽に参加できるような仕組 持ち、こうした懇談会に気

ただきたいと思います。そ イデアを出して実行してい

答弁をもう一度お聞きしま とについて町長の前向きな 施策が必要ではないかと思 あえる様な環境作り、町の ではないかと思います。 みを作り上げることも必要 を聞いたりする機会や仕組 についてキャッチボールし は役場と町民が互いに町政 是非こうしたこ 私

、出向いて説明したり意見

いうことで、

の移管問題の時だとか、ご 関わりのあるこの道立病院 り懇談会の中でですね、 み有料化、 に町民の日常生活に非常に とですが今までのまちづく のコミニケーションとのこ くらいの住民が集まったと にはどの会館も一杯になる 出前講座を含めた地域と 合併問題等の時 特

> 話できるような場を作って り多くの人たちが気軽にお うのが、やはり反省として でのまちづくり懇談会とい クリアーした中で日常の中 せん。ただ、大きな案件が まらない状況ではございま くり懇談会すべてが人が集 ております。 いますので、これからもよ 工夫が必要だと思ってござ きたいというふうに考え



前谷由樹

還元について 風力発電事業益金の町民への

行政

業縮小、人員整理の解雇が 産業全体が防衛収縮し、 行われております。そうし 経済状況にあり、このため 道内の各自治体にお 日本国内は未曾有の 事 いる状況です。 が率先して活性化を図って 力を持ってもらおうと行政 り、米を町民に配るなど、 配布や東川町では豊作によ らしながら、 不況に喘ぐ住民に何とか活 いては、それぞれ工夫を凝 商品券の全戸

質

今までまちづ 伺 を活用する事はできないか きる様な、風力発電の益金 全世帯(全住民)に還元で あります。緊急施策として、 けることができないわけで きない人は還元の恩恵を受 を発行しておりますが、こ の制度は商品券を購入した 高います。 への還元であり、購入で 本町もプレミアム商品券

町 長

あります。 など幅広く、 などの産業振興事業や教育 は町内会への外灯料の助成 なっており、またこの収益 づくり事業の貴重な財源と 会計へ繰出しし、各種まち 約2億2千2百万円を一般 きましては、 から生じる売電収益につ あ 民 れ活用されているところで りますが風力発電事業 への還元について」で 「風力発電事業益金の さらに豊かな海づくり 植樹活動などの環境事 子育て支援や人材の養 町民へ還元さ 本年度当初 町

どの生活関連物資の価格上 にあたり、生活を脅かすほ 年末・冬季需要期を迎える 事業は消費者である町民が ついてでありますが、この レミアム商品券発行事業に このたび商工会が行うプ

> ます。 昇の現状を踏まえ、 町内消費拡大につながるこ このように、町民の日常生 業会計から更なる繰出しを 支援のための緊急対策とし てまいりたいと考えており 事業を通して町民に還元し 接に関わる施策など様々な くり事業へ、また町民と密 繰出される収益は、まちづ されるものと思われます。 とにより、事業の効果が果 活における消費行動に対し 行ったところであります。 の事業の助成に風力発電事 て実施するものであり、こ て生活の一助となり、また 今後も風力発電事業から 消費者

■再質問

あれば来年度の予算編成に を買いたくても買えない人 いかと思いますが、 過去に遡っても今までずっ と思います。再度、 向けて考えていただきたい として今年度できないので のでこうした方々への施策 あり事実であると思います した経済不況の中、 がいるというのも、今こう 施策としては良いのではな と思いますのでそれなりに 商店の活性化ともつながる と継続しきたわけですから 私はプレミアム商品券は ・当然で 商品券 町長に



11 います。

町

町村のいろいろな町の産業 挙げた東川うんぬんの他の とでお年寄りの方々にも好 形態との絡みもあるでしょ ておりますけれども例に ますので今後も商工会との 評だという話も聞いており わせてやっているというこ よというそういう周知も合 券を使ったほうが有利です 来た際にはプレミアム商品 でも高齢者の方が買い物に 円から買える、各店のほう 向で考えていきたいと思っ 協議の中で継続していく方 特に買いやすいように5千 も商工会自身高齢者の方が 品券の件でありますけれど 風力発電のプレミアム商

ますけれども寿都町におい 今のところは思っておりま いただきたいと考えており いろな考え方で進めさせて ては寿都町独自のまたいろ 特色あるやり方は存じ上げ うけれどもその町その町 るだとかそういう考え方は みんなに仮に現金を配 ただ風力発電を幅広

と思います。 還元を是非お考え願いたい が今年はホッケが大漁しま 漁によりまして全世帯に鮭 したが町としての町民への を配ったときもありました 本町では以前に秋鮭の

■再々質問

支援として約4千10億円がては地域の雇用創出などの 形で一律に還元できないも 増額されるということです 再度お聞きします。 のか、またそうした考えを て町民への生活支援という 交付税の増額配分と合わ 示すことができないもの 来年度地方交付税にお 風力発電による益金を せ

町

も東川町のお米を配った だという案なんですが、私 としてホッケ配ったらどう 2点目の関係で一つの 例

とが喜ばれることかもしれ すので、全戸に配布するこ ので、その辺については人 るという部分もございます あんまり喜ばないよな」と ぶかというと「ホッケじゃ、 ホッケを配ったらみんな喜 ちらにしても風力発電の益 な工夫が必要だと、ただど ませんけれども、いろいろ それぞれの考えがございま いうことはいつでも手に入 大漁の年だったと、 ホッケが今までで、史上初、 せんけれども、仮に今年が にしかお話は聞いておりま いて、一部の町民方

> ります。 喜ばれる施策を作っていき ので、これからも皆さんに するのが基本でございます たいというふうに考えてお 金をより多くの町民に還元

■越前谷議員

一層努め

はありません。 を配ればいいということで ケが大漁したから、ホッケ 風力発電の益金の中でホッ だきたいのですが、私は、 町長、 誤解しないでいた

いということであります。 元ということをお願いした やはり、 何らかの一律 還

越前谷由樹

資源ごみの無料化等について

行政

質 問

の後の進展についてお聞き て質問したわけですが、そ いて、ごみの無料化につい 今年、 第2回定例会にお

どのような状況で進んでい 協議の結果を伺います。 の協議について、 島牧との協議、組合議会と るのか何います。 の広域処理について、現在 また、岩宇地方とのごみ 構成町村である黒松内・ 内容等、

ごみや鉄スクラップの売払 在、「逆有償」の現象も も一過性のもので、特に鉄 騰が見られましたが、これ いについても、 を要していることや、資源 おり、リサイクル経費につ 会において、 じると言われており、 スクラップにおいては、現 いては、年間2千数百万円 てでありますが第2回定例 資源ごみの無料化につい お答えしたと 一時期、 無料 高

るものと考えますので、 みが町民の負担軽減に繋が みの排出を抑制する取り組 す。なお、ごみの発生・ご をご理解願いたいと思いま 化をできる状況にないこと 民周知について、 後、ごみの分別に対する住 て参ります。

しをして参りたいと思いま が開催されますので、お話 ついては、後日、組合議会 次に組合議会との協議に

更新時に広域化を含め検討 岩宇地区については、施設 る羊蹄地区に1ヶ所、南部・ 年度で現施設が使えなくな とで計画を変更し、平成26 ら、8月、連絡協議会にお 違い」が明確であることか を焼却処理するグループ・ 連絡協議会で当初、 することとしたものであり を集約化する方向で検討し 南後志地域廃棄物広域処理 みの広域処理について」は、 いて焼却炉を複数化するこ ておりましたが、「生ごみ ないグループの意向の また、岩字地区との「ご 焼却炉

合の2方式で、 場合、南部地区 単独の場 区と岩字地区が広域化した よる会議を開催し、南部地 その後、11月に担当者に それぞれ焼

> 況となっております。 ることとしているという状 費並びに運営経費を試算す 却施設の規模に合せた建設

今

入に負担しているのが約130 寿都町民が資源ごみ袋購 すが、近隣町村と早くこう ようなものがあると思いま 牧村はこうした理由という 内町はこういった理由、島 があると思います。3ケ町 についてはいろいろな考え ますが、資源ごみの無料化 240万円ということであり いったことを相談して、い 村が話し合った結果、黒松 万円、3ケ町村全体では約

> も、まずはよりみなさんが は持っておりませんけれど には絶対しないという考え

があるか、 再度伺います。

町

うに資源ごみの分別の悪さ 新たな支出がでておりまし ほうでは20万円を超える から余分に一部事務組合の ては、前にもご説明したよ 資源ごみの件につきまし

て、 地域の住民の方々が分別を れますので、まず努力をし きっちっとすることによっ 逆に町内会を含めた各 いらない経費が削減さ

由をクリアーしてごみの無 ろんな理由があればその理 料化について考えていただ

町民負担を軽減する意味か 負担していただいている資町長として今後町民から らも積極的に取り組む考え きたいと思います。 源ゴミ袋の無料化について

> これをとにかく皆さんで さんが少しでも負担が少な ども7千88万円の一般会計 りたいというふうに思いま 中での取り組みをしてまい はかけないという前提での 守っていただくものは守っ くなるように努力していき 少しでも経費が下がるよう からの支出がございます。 年度決算ではありますけれ 合での寿都町の負担金は19 す。ちなみに今一部事務組 に、そしてかかる経費も皆 ていただく、よけいな経費

再々質問

たいと考えております。

がPRしております町のイ ごみ袋の無料化は、今、 りましたように風力発電の みリサイクルにおける資源 益金のエコ活用として、ご 先程町長もお話してお 町

> はないかと思います。そう 思います。 極的に考えてもらいたいと の無料化について、 メージに合致しているので した意味からもこのゴミ袋 ぜひ積

町

でこの無料化というのは進 るようにそういう動きの中 た中で少しでも経費が下が

展していくふうに感じてお

ります。決して私は無料化

うことを考えております。 りますので、とにかく普段 がるということで考えてお によって、無料化にもつな がエコにつながる、その結 ごみを減らしていく、それ もっともっと、行政、 すということがエコにつな する、とにかくごみを減ら 認識、まず、しつかり分別 うことに皆さんが共通した ておりません。エコとい の行動をしっかりやるとい 会が団結してですね、この がるので、この点について ながるとは私は決して思っ ごみの無料化がエコにつ 歳出が少なくなること 町内



"寿都湾" No.140 < 9 >議会だより

保健

越前谷由樹

包括支援センターと保健師の活動につい

質 問

介

携わりや活動がどのように 支えるためどのようなサー るケアについて、保健師の ける、特に独居老人に対す ビスに重点を置いて活動さ ターですが、地域包括ケア れているか伺います。 において、高齢者の生活を れております包括支援セン また、保健予防活動にお 昨年設置され、 運営

行われているか伺います。

保険で要支援と判定された 制の構築を行ったり、介護 なサービスの提供や支援体 の連携を図りながら、適切 援事業者などの関係機関と 様々な相談を受け、介護支 者の総合相談窓口となり、 まして、主任介護支援専門 成19年4月に設置いたし 地域包括支援センターは平 ついて、お答えいたします。 務などを行っております。 方へのケアマネジメント業 員と保健師を配置し、 師の活動」へのご質問に 「包括支援センターと保 高齢

しましては、 ための予防に重点をおいて 護を受けるようにならない 受けることが多い中で、 様々な介護に関する相談を

肢筋力の向上を図ること にならないよう、参加され で、転倒を予防し介護状態 転倒予防教室を開催し、下 操を実施したり、診療所で にこにこ教室において、体 老人クラブを対象とした、 てのPRをしております。 ラブなどの場で活動につい 各地区の健康講座や老人ク さらに広報紙によるほか、 ンフレットを全戸配布し、 住民の方々への周知といた 活動を展開しております 開設当初にパ

これができるのは自治体

はないかと思います。また、

一番重要なケアになるので

である役場であり保健師は

動を行っております。 る方の意識の向上も含め活

り、訪問活動を通して支援 域の方々からの情報によ 支援事業所、 関しては、 援が必要な方へのサービス をしております。地域で支 体制の構築に向けての対応 めた支援の必要な高齢者に いてですが、独居老人を含 ケアへの保健師の活動につ また、独居老人に対する 民生委員や介護 医療機関 地

めております。 期的に会議を開催したり、 係機関との連携を図り、定 提供を効果的かつ効率的に 随時情報交換をするよう努 していくために、様々な関

す。 康の維持に努めてまいりま 動をしており、 過ごしていただくための活 携し、地域の方々が元気に 保健推進員などの組織と連 して、保健師だけではなく をはかっていただく機会と ました。地域住民との交流 区での食事会を開催いたし 進員の協力を得ながら、 の共催により食生活改善推 ために、今年度におきまし ず閉じこもりを予防する ては、保健推進員協議会と また、独居老人に限ら 今後とも健 地

動が地域包括ケアの中でも

サポートするための訪問活 に一人暮らしのお年寄りを ビスでありますが、私は特 ビスはいずれも大切なサー 町にとって、これらのサー

■再質問

す。以前、国保会計で臨時 いることも承知しておりま

に保健師を採用し、各地域

齢者比率3%を超えるわが 福祉の4つであります。高 援・医療・保健予防・社会 を掲げております。生活支 ため国では4つのサービス 高齢者などの生活を支える のではないかと思います。 すが、私はそれらを含めて 参加ができることでありま な考え方は住まいがあっ て、高齢者の方などが社会 番大切なのは心のケアな 地域包括ケアの基本

先を記した台帳を整備して

おります。

健康確認・生活状況・連絡

以前は安否確認

されているのか、お聞きし

た訪問活動はどのようにな

りましたが今、現在こうし

康や生活状態を把握するた 支援を図るため各家族の健 康問題の改善や病気の回復 の高齢者世帯を訪問し、健

め、活動していたことがあ

お聞きします。

町

ので何かあったときにはそ れを利用させていただいて 台帳が整備されております 帳につきましても今現在、 います。また安否確認の台 めさせていただきたいと思 らしていける政策の中で進 かくお年寄りが安心して暮 的に判断してですね、とに ことでもありますので総合 さんとコミニュケーション 集まってくる家から出て皆 がやはりその地域、地域に 訪問するのも大事なんです し、一人暮らしのところに していきたいとは思います ただけるような取り組みを されるということで、より りました保健師も2名増員 ります。来年度予定してお 中でもいろいろな制約があ わけで今保健師が少ない状 してもマンパワーが必要な 訪問活動をした経緯があり を図るということも大切な 高齢者の方々に安心してい 況の中で今非常に活動する ますけれどもこれを行うと 関係でありますけれど 過去には一人暮らしの 域包括支援センター

け訪問ということで社会福

祉協議会の職員が活動して

けでありますが、一部声か その責務を背負っているわ

おりましたが今もそうした 台帳が整備されているのか

■再々質問

できないものか、 で行われておりましたがそ 踊り・カラオケ等が行わ 会館で毎年1回民謡・手品・ 事業"(磯谷から樽岸の各 れは前に各地域での"会館 観点から考えてみてはと思 るような企画を保健予防 域の住民の方が何か楽しめ ます。お年寄りも含め各地 占めているとも言われて いただきたいと思います。 の保健福祉版ということで いますがいかがですか。こ ビ等で笑いが重要な要素を ます。また、よく新聞テレ た)というのが教育委員会 「笑い」ではないかと思 要な要素を占めているの は心のケアの中で一番 先程も言いましたが、 お考えを 私 が 重

町

ものがあれば取り組んでい も十分協議をしながらです える暮らしができるのか、 きたいと考えております。 保健活動と教育委員会と どうやって皆様が自然と笑 社会情勢になっている中で ろいろな世界規模で厳しい 保健に限らず、 大切なことだと思います。 笑いが一番、 より幅広く取り組める やはり今い これは私も

行政

越前谷由樹 湯別会館の来年度建設に向けて 議員

しております。

状態となっております。 は台所の床が落ち、 昭和53年に建てられ、 湯別地区の改善センターは 所修繕しなければならない ひび割れ、 ておりますが、その中でも で各地区の会館が整備され (泊地区から磯谷地区ま 雨漏り等、 外壁は 現在 到る

個々の修繕では建物全 新しい会館の建設に

体が耐えられる状況では 地域住民の切実な願いであ ついて先日のまちづくり懇

きたい旨、 懇談会でもお話ししまし

湯別生活改善センタ

で来年度建設に向けて町長 きえをお聞きします。 強い要望でありますの

いと存じます。

町

に向けて」についてであり 湯別会館の来年度建設

ろであります。 り改築の要望があったとこ ちづくり懇談会で町内会よ ていることから、先般のま 使用にあたり支障も出てき 壁や内部の傷みもみられ、 に利用されてまいりました 集会施設として多くの住民 以来今日まで地域住民の が、築後30年を経過し、 は、 湯別生活改善センター 昭和53年に建設され、 外

ろであり、 では利用に支障がないよう 利用も視野に入れ、近々の しながら、補助制度などの の町全体の事業推移を考慮 小修繕で対応させていただ いただきたい、またそれま 改築に向けて検討をさせて は、昨今の財政事情や今後 たように、改築にあたって お伝えしたとこ 町内会の皆さん

■再質問

要望してきたのになおざり あります。現状のセンター 問させていただいたわけで れませんでしたので今回質 の考え方がはっきりと示さ にされてきてもうこれ以上 年も前から建物の修繕を んでいる状態であり、 がこのようにあちこちと傷 において建設についての町 先日のまちづくり懇談会 10

思います。 良い言葉をいただきたいと えず、支障をきたした状況 す。先日も葬儀が行われた すので過疎債等を利用した 数百万以上かかると思いま に向けての町長の歯切れの でありますので来年度建設 建設が考えられると思いま トイレ台所等が一部使

町 튽

りしたことを前回の湯別の でありますけれどもはっき 5点目の湯別の会館 0

もご理解されたことと認識 いを進めさせていただきた ては今後町内会等と話し合 改築の具体的計画に向け ます。 努力をしたいと考えており 湯別の会館の新築に向けて れるように努力して、早く ら、少しでも補助制度に乗 て町民にかかるわけですか ば、その負債というのは全 疎債・辺地債に利用できれ 探して、 成をこの21年度に向けて、 とにかく今、財政が逼迫し 明させていただきました。 いという話を町内会でご説 ば22年度に向けて努力した したけれども、 まちづくり懇談会で示せな ている中で少しでも国の助 かったというお話でありま 以上でございます。 そして残りを過 私はできれ

■再々質問

今の現状から修繕だけでも 民の心情であります。また 待てないというのが地域住

断していただきたいと思い す。湯別地域におきまして で建てられないのか、その あればなぜ来年度の21年度 は22年度建設というので 建設に向けてということも 懇談会の中で平成22年度 度に向けた早急な建設を判 ますから、是非、他のいろ 差が生じている状況であり つきましては他地域との較 は仮にもこの会館の整備に 点をお聞きしたいと思いま 言っておられましたが、 んな事業に優先して、来年 確かに町長はまちづくり 今までこの会館の建 私

から何度も申し上げますけ 地債のみという形で他の地 がなくても過疎債のみ、 設につきましては補助採択 れどもぜひ来年度に向けて と思います。そうした状況 域の会館も建設されてきた きします。 たいと思います。 建設計画を立てていただき 再度お聞

辺

町

過疎債、 というのはありがたい事業 ではありますけれども、 応してまいりましたけれど 通 やはり過疎債、辺地債 常 辺地債で今まで対 会館というの

> ういう有利な補助金を入れ 建設に向けて努力していき 度探しながら、早い時期に 年かけて有効な補助金を再 つきましてもできれば、そ だいており、湯別の会館に を過疎債を利用させていた の交付金をいただいた残 きましてもまちづくり交付 たいと考えております。 くるものですから、より1 部町民の、借金がかかって ることによって、それが全 金を有効に利用して、 なっており、渡島会館につ れ以上に今、 財政が厳 4 割 以

議会の傍聴はお気軽

月に定例議会が開かれ 3

議会での審議を町民の皆様に より深 理解していただくため、みなさん の議会傍聴をお待ちしております。



詳しいことは議会事務局へ 日程等、 お問い合わせください。 (TEL 62-2511内線71)

至事務調查

平成20年

調査事項

岐阜県中津川

市

1日~

2

利活用について

齢者への支援策 の高い栄村の子供や高 人口減少や高齢化率

内の活動について 高齢者に対する集落

平成20年12月1日から5日

当委員会では、

閉会中の

まで道外所管事務調査を行

調査結果について第四

策の状況について 人口減少に対する施

回定例会で中里徳男総務常

任委員長から報告がありま

3 茨城県日立市

取組みについて 体制や各種エコ事業の ジニアリング・アンド・ サービスにおける監視 ている(株)日立エン の保守・監視を実施し 本町の風力発電施設

(総務委員) 調査参加委員

沢村 中里

国昭 徳男

副委員長

委員長

岡部

武

委員

石澤洋二 木村真男

委員

委員

4 東京都中央区

先である東京都中央卸 最近の流通や衛生管理 売市場(築地市場)の 本町の水産物の出荷 の実態について

(産業委員)

山本 木村

喜彦

副委員長

親志

委員長

越前谷由樹

正尚

委員 委員

調査状況について

計 9 名

長野県南木曽町 妻籠宿

調

査

地

南木曽町・長野県栄村・茨 岐阜県中津川市・長野県 江戸と京都を結ぶ中山道

《県日立市・東京都中央区 歴史的建造物の保存 長野 ある。 る交通の要衝として政治の しての機能を失った妻籠宿 路が新たに造られ、宿場と が明治に変わり、鉄道や道 をみせていましたが、時代 山道と伊那街道が交叉す る妻籠(つまご)宿は、中 江戸から数えて42番目とな とから「木曽街道」とも呼 は、 は衰退の一途を辿ったので 道として、古くから賑わい れ、中山道69次のうち 流通経済の道、文化の 山深い木曽路を通るこ

中、 後世に伝えている。 街並みという貴重な財産を 生活しながら、江戸時代の う3原則をつくり、ここで 貸さない・壊さない」とい 保存運動が起こり、 見直され、全国に先駆けて 色濃く残している町並みが に家や土地を「売らない・ 人たちは町並みを守るため 昭和になり、経済成長の 江戸時代の宿場の姿を 妻籠の

されている。 保存計画」により保存管理 南木曽町妻籠宿保存地区 妻籠宿は、 町の保存条例

景観の保持に努めている。 の補助事業により、修理や 建造物が20軒あり、 区」にも指定され、 要伝統的建造物群保存地 また、昭和51年に国の「重 伝統的 国・県

籠を訪れる人々に妻籠宿を 更許可等が必要となって 等は、住民組織である「妻 の改築や色彩、 力している。 ガイドはボランティアで協 サービスを開始しており、 より深く理解してもらうた いる。なお、同会では、 籠を愛する会」により、 保存地区内は、 平成15年から案内人

客の入り込み数は62万3千 を展開している。 人となっている。 平成19年の妻籠宿の観光

岐阜県中津川市 馬籠宿

戸から43番目の宿場町であ 馬籠 (まごめ)宿は、

樹木の伐採 建造物 妻 変 を訪れる観光客は昭和45年 ことになったのである。 馬籠は島崎藤村の生地とし や道路の整備により衰退し 宿場である。妻籠同様鉄道 る全長約00mの坂に開けた たが、昭和の高度成長期に、 に石垣を築いては建物を造 て、ふたたび脚光を浴びる 当地区にある藤村記念館 道路が急斜面で、 両側

界遺産」登録に向けた活動 現在馬籠宿とともに 世 のための宿泊施設や食堂、

阻止し、営業や家屋の改造 会が発足し、外部の進出を 土を外部資本から守れ」と たため、危機感を抱き「郷 外部から企業が進出してき 馬籠の人気に魅せられて、 をあげた。 監視をするなど大きな実績 観光協会を中心に保存委員 にも妻籠同様厳しい指導と しかし、 観光地となった

によって、 現在も「中津川市景観条例 柱や電線、テレビアンテナ 慮するなどもし、 の移設や自動販売機にも配 ため、さらに道路沿いの電 の街道整備も継続で行われ 馬籠宿の景観を美化する 周辺の景観は維 石畳など

地帯に囲まれた全国でも

年間の平均積雪量は、

約

持している。 客入り込み数は42万人を維 持されている。 平成18年の馬籠宿の観光

より地域が活気を取り戻し 和5年には42万4千人とな 土産が出店し、雇用増等に 入り込み客の受け入れ 昭 中山道馬龍宿節程縣

に14万5千人だったが、

長野県栄村

◎村の概況

106 km ・ の 南 km に で、33 部を千曲川が横断、又、志野で占めています。村の北 を有し、9・8%が山林原 断し、それらの沿岸平坦部 **久見川・中津川が南北に縦** キロメートルの広大な面 を中心に31の集落が形成さ に位置し、 栄村は長野県 南部は2千m級の山 南北に33・7㎞、周 東西に19・1 271 • 51 平 の最 積方囲

であり、行政効率はあまり 冬場になると国道1本のみ という地域を結ぶ道路は、 出たとのことです。秋山郷 の豪雪の際も死亡者2名が 平成18年から19年にかけて 観測史上最高の7m85㎝ 芳しくないとのことです。 村合併により下高井郡堺村 同村は、昭和31年に市町 mですが、昭 和20年には

る。

と下水郡水内村が合併して 下水内郡栄村として発足し

等の販売を村振興公社が支 が大小数多く活動を展開し の栽培・加工グループなど 産業としています。農産品 稲を主とした農林業を基幹 める19世帯となっている。 者世帯は4分の1近くを占 世帯が22世帯、さらに高齢帯数30の内、一人暮らしの 齢者比率は4・9%で、世 ており、製造される特産品 沼地区との境でもあり、水 中で下から13番目の状況で で、長野県内8の自治体の 栄村の産業は、新潟県魚 現在の人口は約2千40人 人口に占める直近の高

と行き来でき、夏場には、 アウトドアを楽しむ人や登 と片道2時間足らずで東京 また、新幹線を乗り継ぐ 村内8箇所

> 観光交流にも力を入れてい 京方面の都市との姉妹提携 場などに観光客が訪れ、 設を運営) の温泉やスキー 興公社で4箇 により交流促進を図るなど 断の宿 泊 東

まち(むら)づくりを推進 と総合調整を図りながら、 新設し、若者や子育て対策 成19年度から定住促進係を 村の最重要課題のため、 している。 さらに、 要課題のため、平

◎財政状況

となっています。 19・7%で起債の許可団体 標準財政規模20億3百万 経常収支比率は95・2%、 63・0%となっています。 額は16億5千77万円で同 す。また、地方交付税の総 成比6・8%となっていま は1億7千80万8千円で構 であり、歳入に占める村税 予算総額2億3千10万円 平成20年度一般会計 実質公債費比率 は

因となっていました。 備関連事業によるものが主 年度末 (予定) で26億で、 度において村営スキー場整 ており、これは、平成8年 に70億7千4百万円となっ 過去のピークは平成10年度 地方債現在高は、平成20

施 年度は4億9千万円の予定 となっています。 大きな償還を終え、平成21 11億円の間で推移してきま 公債費は、毎年7億円から したが、平成20年度までに

◎特色ある施策展開

は、 進した特色ある施策展開等 7 実践的な自治活動を推 行政と住民が補完しあっ 次のとおりです。

○地域に根ざした農業活動 【「田直し」事業】

に切り替え、基盤整備事業 度から圃場整備を「田直し」 た農業活動祖支援するた を活かし、地域に根ざし を展開してきました。 め、1989年(平成元年) 地域の農家の知恵と技

備を進めるものです。 談し、希望に合った事業整 必要な整備内容を農家と相 夕を臨時職員として雇い 上げ、工事作業のオペレー は機械をリースにより借り 圃場の改良計画を企画、村 整備を行うもので、農家が 家が使いやすいように区画 田地域の地形に合わせて農 田直し事業は、山村の棚

うもので、 し、農家の意向に沿って行 益農家の負担は十分に協議 工事に係る事業費と受 自治体と農家が

> 生産基盤の向上を図ってい この田直し事業により圃場 推進するものです。工事費 の整備を行っており、農業 れまで、70%以上の農家が 無利子となる内容です。こ 農家負担が50%となってお は10 a当たり40万円以下、 互いに補完しあって事業を 1年据え置き5年償還 負担に係る融資の償還

前に1千41枚あった田が514度までの実績は、圃場整備 の抑制にもつながっていま である水田の維持及び荒廃 れにより基幹産業の基盤 枚に集約 (46·2 ha) さ 万8千円となっており、こ れ、総事業費は1億7千537

○集落内の冬期間生活道路 確保対策

【「道直し」事業】 (直営道路改良事業)

展に伴い、道踏みそのもの 内の生活道路を「道踏み」 部の幹線道路を除き、地域 冬期間は国道・県道など一 を行う人材も減少し、 沿いにしか建設できないほ 庫は除排雪が行われる県道 により確保していたが、車 か、人口減及び高齢化の進 栄村は豪雪地帯のため、 緊急

時も含め生活道路の確保対 策が緊急課題となっていま

平成元年度から平成19 年

徴収事務を行います。 支払い及び地域の負担金の ほか、原材料代、用地費の 当し、村職員は現場指導の 職員で編成する作業班が担 改良作業は、4名の臨時

す。 材料費の25%となっていま 負担は、用地費の30%、 り1万円程度であり、住民 平均工事費は、1㎡当た 原

298 m 事業概要は、施工延長9千 平成19年度までに行った 総事業費2億9千

ています。

から1千50円/時間となっ

活動に区分し、

介護保険給付及びその他の

元負担は3千49万2千円と197万9千円で、この内、地 なっています。

とし交差点改良等を行うこ ば除雪機械の運行も出来な ととしました。 なる幅員最低3·5 m以上 内道路を機械除雪が可能と い状況であったため、地域 域内の道路を整備しなけれ 雪体制を確立するために地 このため、冬期間の除排

た生活を送ることができる

よう環境整備が進んでいま

生活道路の確保が容易にな

高齢者を中心に安心し

これにより、

冬期 間

○高齢者対策

生活を送ることができるよ

高齢者が、安心して在宅 【げたばきヘルパー事業】

行っています。 計画で優先順位を決定して してもらい、3ヵ年の実施 らは、村へ改良要望を提出 こととしました。各地域か 計及び施工は自治体が行う 平成5年度から事業実施を し、路線計画や用地協議は 直し」と同様の手法を活用 域の住民が行い、測量設 道路改良にあたって、「田

により、24時間体制で必要うに「登録ヘルパー方式」 なサービスを提供できるよ

つけられるということから 真夜中でも雪の中でも駆け う取り組んでいます。 命名されています。 や隣であれば下駄を履いて 「げたばき」とは、近

パーの活動に伴う報酬は、 ら3級まで含め、総勢11名 ます。ヘルパーは、1級か ワーで高齢者の生活を支援 にグループ分けして住民パ が登録を行っており、ヘル 議会に登録し、村内8箇所 していく体制を整備してい した住民が栄村社会福祉協 ヘルパーは、資格を取

68万8千円を見込んでいる で44万円で、平成20年度も 賃金支払額は、平成19年度 ルサービスとなっておりま 食サービス及び安心コー 所や入院などにより利用者 ビスについて、特養への入 サービスと安心コールサー ようですが、ホームヘルプ ホームヘルプサービス、配 サービス、介護予防事業、 は少ないようです。 ヘルパーの活動に伴う

(雪害対策救助員事業

村が確保し、状況に応じて 象に「雪害対策救助員」を 排雪が困難な高齢者等を対 自力で屋根の雪下ろしゃ 及び道踏み支援事業



派遣・作業を行う事業を昭

栄村役場会議室

名の救助員を確保の上事業待機保障を行っており、15 動が大きくならないよう、 酬(日額1万3千円)の変 員は、降雪状況等により報 ど費用的にも安定した体制 を推進しています。 が保たれるようです。作業 することが手間が省けるな り、その都度、業者に委託 業に対し公務災害補償があ 員を臨時雇用するため、作 す。あらかじめ、村が救助

650円/時間からバックホー負担料金は、雪下ろし1千 業内容によって有料の場合 4区分があります。 があります。 ており、対称者の状況や作 (機械)3千円/時間まで -度において17世帯となっ 派遣先世帯は、平成19 有料の場合の

して生活支援を進めていま 成12年度から支援員を派遣 保できない世帯に対し、平 いる道路までの道踏みを確 して、自宅から除雪されて -独補助事業で実施 また、道踏み支援事業と (平成17年度以降、 県

【デマンド交通事業】

助金) 2路線(東部線) 民間バス会社運行委託 していた村営バス(有料)、 公共交通路線として運行 (補 秋

いま に再編しています。 間バス路線1路線(秋山線) 通システムに切り替え、民 路線と東部線をデマンド交 山 線)について、 村営バス

提供するサービスは、

から展開して

託をしています。 委託会社が購入して運行委 乗り及び14人乗りの車両を 区域を2箇所に分け、9人 デマンド交通で対応する

いもある) す。(他の予約者と乗り合 から目的地まで運行されま 事前予約により自宅玄関口 区域内一律30円の料金で、 を除く平日のみの運行で、 運行概要は、土日・祝日

ています。 約90万円の経費削減となっ 度の2千82万1千円と比較 の総額について、平成15年 スを含むバス運行維持経費 していますが、通園通学バ し、平成19年度においては 平成19年度から事業展開

要があるとのことでありま などにより対策を講じる必 るようで、今後、現状分析 影響が及ぶ状況となってい を下回るなど運行委託費に 利用料収入が当初の見込み 課題は、利用者が少なく、

〇人口減対策

村外の住民に田舎暮ら 【移住体験事業】

> 施されています。 構想で、平成19年度から実 産として活用させてもらう 知識や経験を村の貴重な財 の歯止めや、それらの人の 知ってもらい、定住(移住) しの体験を通じ村の良さを に繋げることで、人口減少

います。利用料金は、 体験住宅は、

ます。 ナーを実施し、 また、田舎暮らしセミ

しています。 年4回に分

6名、平成20年度も4名の 移住体験は、平成19年度

き家がありながら、 しかし、村内に83戸の空 所有者

す。

補助を充てていますが、住20万円)は、3分の2を県 れたものを事業に供してい 宅は所有者から村に寄贈さ 費として1戸につき1千円 週間程度を入居期間として ます。整備に要した費用(約 を除く)は村が準備してい 活に必要な備品設備(寝具 家を確保して、1日から1 、日を負担してもらい、生 村内の空き

も体感してもらった上で移 ど、村のよさと冬の厳しさ 住人口を増やす政策を推進 た体験ツアーを展開するな けてそれぞれの季節に応じ

ようです。 **怠向を示している方がいる** 方が利用しており、移住の

今後、 きる住宅は2戸しかなく、 現状において移住に活用で 帰省用に確保したいなど、 の家具等が置いたままや な課題となっているようで 住宅の確保が大き

【子育て支援関連事業】

40万円を支給 30万円、第5子以上: 子:20万円、第4子: 口出産祝い金…出生児1 口にぎやか祝い金…第3 人につき10万円支給

□福祉医療費給付金┄ て支給) 幼児・児童生徒に対す 費の一部を給付金とし る医療費の補助(医療 義務教育終了までの乳

口保育園におけるサービ 保育(1回210円)、早 55円~2千円)、延長 (年齢、 8時00分~)、子育て 朝預かり(2箇所の保 ス…一時預かり保育 育園。7時45分~又は 園の開放事業 時間帯により

【その他の事業】

者慰労金(年額9万円)老 して、長期療養者見舞金(年 人長期入院見舞金(1日50 額2万5千円)、家族介護 栄村福祉均等支給事業と

しています。 まで2千円/月) 学前児童3千円/月、18歳 円、18日限度)、父子手当(就 等を実施

ます。 る送迎運行(1クラブ年4 する際にマイクロバスによ ほか、老人クラブ単位で栄 落活動支援として、一 回を限度) 村老人福祉センターを利用 な老人クラブ活動補助金 また、高齢者に対する集 が実施されて 般的

(株)日立エンジニアリング

動について 保守・監視体制やエコ活 本町の風力発電施設

状況を監視している。 常時5名の社員が、2時間、 365日遠隔操作で風車の運転 本社監視センターでは、

には、 万一、 みになっている。。 明し、早期に復旧する仕 本町の風力発電施設 その原因を迅速に究 故障が発生した場合

により、 2025」を策定し、製品 エネルギー、 標としており、大沼工場は、 出抑制に貢献することを目 に年間1億トンのCO2排 7年12月に「環境ビジョン 日立グループは、 2025年度まで 資源循環、 2

19年2月に完成している。 を受けたオフィスで、平成 パーエコファクトリー」の認定 取組みを実施している環境 学物質に対して、 配慮方工場として、 大沼工場の建物は、高性 先進的な ・「スー

ルギー消費量の把握を行っ リングを行いながら、エネ 制御システムによるモニタ 採用し、各設備の集中監視・ 感センサー照明、 陽光発電、 ている。 パッケージ空調システムを 熱鋼板を使用するほか、太 能熱線反射ペアガラスや断 ステム、自動調光照明、 氷蓄熱式空調シ 躯体蓄熱

者用に使用している。 型の600kwの風車が18年10 のサービス教育訓練や見学 月に設置されており、社員 の「寿の都発電施設」と同 日立大沼工場では、 本町



太陽光発電

参加者数

委員会:今後も本町と日 立で協力してエコ活動

設置されている。 者にもわかりやすい画面 ビーでは、発電量等が見学 また、会社正面玄関 口

その他の取り組み

2

来の子供たちに」残すため 活動を始めました。 にと、2007年から植林 かな水とみどりの地球を未 に私たちができる事を!」 (株) 日立では、 未来の子ども達のため 今、「曹

現を目指し、「今始める事 と大変に息の長い活動です タートしています。 の大切さを」と受け止めス が、持続可能な社会の実 この活動は今後60年間

植樹日

2007年5月12日(土)

石国有林 茨城県高萩市上君田竪

樹種及び本数 面積 2・0h 2 千 本 スギ4千20本、 278 名 計 6 千 200 本 ヒノキ

※ 質

を寿都でできないか。

掃や環境フォーラム 本町では、 の一環としている。 「エエコ寿都」を実施 本年海岸清

エコ活動をまちづくり

• 日 立:風力発電とバッ 試験を青森県で実施す テリーバックアップの 議していきたい。 るかもしれないと考え る。寿都にも提案でき ているので、近々に協

東京都 中央卸売市場(築地市場

外市場)がある。 場外市場商店街(通称:場 市場である。付近には築地 ならず日本を代表する卸売 世界最大であり、東京のみ のひとつだが、その規模は 所ある東京都中央卸売市場 場である。東京都内に11か 場である。日本最大の魚市 区築地にある公設の卸売市 築地市場は、 東京都中央

が、 ヘクタール。この中で、 卸売市場が開設された。 る。1935年(昭和10年) 河岸をはじめとする市場群 流通を担ってきた日本橋魚 に現在の位置に東京市中央 築地市場は、面積約23 江戸時代から東京の食品 築地市場の始まりであ 8

> 億円に及ぶ。 ン)、金額にして約5千57657 全品目合計で約91万6千 2005年の取扱数量は、 86トン (一日当たり水産物 によってせりが行われる。 ち水産約82)の仲卸業者 の卸売業者と約1千 **う**

ある。 扱量日本最大)のほか、 17億6千800万円、 種加工品 (冷凍食品等) 肉および鶏卵)・漬物・各 果(野菜・果物)・鳥卵 3億2千万円になる。 扱う品目は、 現在築地 市 日 場で取り 水産物 青果 (鶏 取 が 青

おりである。 の取扱量ベスト10は次のと 売市場での鮮魚・冷凍魚類 平成16年の東京都中央卸

第 1 位 第2位 (約2万40トン) (約3万5千10トン) 冷凍ぎんさけ 冷凍めばちまぐろ

第4位 第3位 まあじ (約1万9千トン) さんま

第6位 第5位 かつお (約1万2千00トン) (約1万5千50トン) するめいか

第7位 冷凍たこ (約1万1千20トン) (約1万1千00トン)

人観光客に人気で、

市場によると、

第 9 位 第8位 さば (約9千00トン) はまち(養殖

第 10 位 (約8千00トン) 冷凍インドまぐろ (約9千00トン)

を相手にした店が多い。 街と同じで一般客や観光客 関連事業者と呼ばれる業者 内は東京都管轄の卸・仲卸・ 外市場とがあり、市場敷地 に隣接した商店街である場 ある場内市場と、築地市場 が、場外市場は通常の商店 販売を前提とした店である 場内は休市日はほとんど

とんどの店が閉店する。 の店が営業していない。 また、場内は午前中でほ

【市場見学の禁止

で混雑するのが見学禁止の 障をきたしてきたことに加 手で触るなど外国人観光客 のマナーの悪さが業務に支 見学を禁止する。マグロを で行われるマグロの競りの での約1カ月間、 月15日から来年1月17日ま 一由である。 東京都中央卸売市場は12 年末年始は市場関係者 築地市場

また、築地市場の別称で り場に見学エリアを設け、 していた。 時間を区切って競りを公開 ていた。このため市場では 行。市場関係者が注意して 突くなどのマナー違反が横 4月から、冷凍マグロの競 も従わないなど問題となっ りの最中にマグロに抱きつ めているという。ただ、競 のうち約9割を外国人が占 いて記念撮影したり、棒で

えなかった。 ち入るなどマナー違反は絶 意したが、規制区域内に立 で書いたパンフレットも用 また注意事項を5カ国語

区域の見学を禁止するとい 産物や青果の競りを行う の入荷量が通常の約1・7 係者らで混雑するため、水 また、年末年始はマグロ (昨年)になり、市場関



議会だより"寿都湾"No.140 < 15 >

飲食店などが並ぶ「魚がし 仲卸業者の売り場や、 はこれまで通り開放

費者のもとに届けられる。

市場衛生検査所は、こう

【市場移転問題

界との協議機関として、新 狭小であった。築地市場業 車輸送が想定されていたた 洲へ移転する予定である。 年を目処に東京都江東区豊 良さなどを鑑み、2012 り扱い数量の拡大により施 策定されていた。 めトラック駐車スペースは どに近い築地という立地の 設老朽化、衛生面、 設が手狭になったことや施 ており、2004年7月、 市場建設協議会が設置され 「豊洲新市場基本計画」 築地市場は、もともと列 東京都は、築地市場が取 ・銀座な

います。 衛生水準の向上にも努めて 衛生管理について指導し、 内の営業者に対して食品 がないか監視し、また市場 流通する食品に不良な食品 衛生監視員が、卸売市場を ために設置されている。 安全で豊かな食生活を守る 通を未然に防止し、都民の の監視指導や試験検査を行 た食品流通の拠点で食品 専門的な知識をもつ食品 不良食品の一般への流

(1)早朝監視

早朝から監視を行っていま 品を排除するため、 られる。せり前に不良な食 れ、早朝の「せり」にかけ ちに生鮮食品などが入荷さ 食品衛生監視員が交代で 卸売市場では、夜中のう 毎日、

(2)通常監視

時、監視指導を行っている。 での取扱いについても、常 仲卸店舗だけでなく「マグ 綿密にチェックする。また、 視を行い、流通食品をより ての食品について、陳列や 口」の解体など、加工施設 保管の状況など、再度、 点でも、当日販売される全 卸店舗へ移される。この時 せりの終わった食品は仲 監

誌 В 議

(平成20年第3回定例会以降)

10 月

- 2 日 第3回臨時会、議員協議会を開催(全議員)
- 7日まで (沢村議員) 6 日 19年度各会計決算審查
- 7日 例月出納検査(沢村議員)
- 岩内・寿都地方消防組合議会定例会 (沢村議員) 15日
- 29日 第4回臨時会、議員協議会(全議員)

11月

- 5 日 寿都町功労者表彰式 (議長他多数の議員)
- · 寿都地方消防組合 9日 庁舎落成式 (沢村議員)
- 決算特別委員会 (全議員) 1 3 日 ~14日まで
- 議員協議会(全議員) 14日
- 例月出納検査 (沢村議員) 7 日
- 18日 後志管内町村議会議長会 臨時総会 瓜生議長) (東京都
- 第52回町村議会議長全国大会 19日 (東京都 瓜生議長)
- 寿都神社新嘗祭 (小西副議長) 2 3 日

12 月

- 総務常任委員会・産業常任委員会道外所管事務調査 1日 (全委員) 5日まで
- 例月出納検査 (沢村議員) 15日
- 17日 議会運営委員会

(岡部委員長・中里副委員長・小西委員・木村親志委員・ 山本委員・瓜生議長)

第4回定例会、議員協議会 24日

> (瓜生議長・小西副議長・中里議員・岡部議員・山本議員・ 沢村議員・越前谷議員・石澤議員・木村真男議員)

Ŧ 成 **20** 年 4 日 臨 時

しました。 委員会に付託し、 入歳出決算については、議 を1日と定め、平成19年度 10月29日に招集され、会期 員10名全員による決算特別 般会計及び各特別会計歳 平成20年第4回臨時会は 同日閉会

> ◆平成19年度一般会計及び **六特別会計歳入歳出決算** 審議

員会へ付託 平成19年度の各会計決算

どは卸売市場を経由して消

特に、生鮮食品のほとん

の拠点となっている。 な食品が集まり、食品流通 国各地・世界各国から様々

東京都の卸売市場には全

ている。

者に対する衛生指導を行っ

る食品の監視、

検査と事業

生監視員が市場内に流通す

検査所に所属する食品衛

(東京都市場衛生検査所)

(衛生管理)

議員全員による決算特別委 した案件 会

選されました。 員長に中里徳男委員長、 託されました。 する決算特別委員会を設置 委員長に山本喜彦委員が互 ましたが、議員全員で構成 認定が議案として提出され し、審議は、当委員会に付 また、決算特別委員会委 副

[2

かれましては、 ないよう気をつけてお過ごし ください。 なりますので、カゼなどひか こととお喜び申し上げます。 これから寒さも益々厳しく 新年を迎え、町民各位にお 益々ご清祥の

7